



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第104号 2021年7月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

子どもたちが谷戸保全に役立っています



今年度は春から、富士塚小も深沢小も5年生が米作りの体験学習に来てくれています。小坂小3年生も草取りや堆肥運びに活躍しました。青空自主保育の幼児たちが谷戸で世話になっているからと、親たちも重労働の作業に精を出してくれています。これから夏の間もたくさんの作業があるので、どなたでもこそってご参加ください。

深沢小学校 田植え

お知らせ

山崎の夏まつり 7/10(土)

今年も神輿のお渡りはなく、役員による祝詞の行事のみ、八雲神社にて行われます。当会の稲を神輿に飾ります。

谷戸往来 1

湿地復元 青空自主保育やんちゃお 6/19(日) にこにこ会 6/26(土)、なかよし会 27(日)

腰まで泥につかって、湿地の葦やオオフサモを刈り取りました。子どもたちも手伝って親子で泥んこになりました。おかげで湿地はよみがえりました。



夏休み
イベント

子ども里山体験

8/22(日) 10:00~12:00

(公財) 鎌倉市公園協会協働開催

～ かかし作り ～

対象 小1~6年生 10名

農作業を体験し、田んぼを見守ってくれるかかしを作ります。

詳細は広報かまくら 8月1日号に掲載し、(公財) 鎌倉市公園協会にて申込受付を行います。

梅雨時は草との闘いです。梅雨時に草を刈るとすぐに再生して秋に花を咲かせますが、8月に刈ると再生力が弱くなるので、種類によっては花が咲かずに終わってしまいます。畑の草取りも梅雨時に一度しておくとうまの草取りが少し楽になります。梅雨時はバッタやコオロギ（秋の鳴く虫）の幼虫が生まれ育つ季節です。草刈りや草取りをした後に出てくる柔らかい芽が、バッタやコオロギの幼虫の生長によいのかかもしれません。草木が伸び放題になった緑地は、案外、生きものが少ないのです。昔の農作業の暦に合わせた草刈りが里山の生きものを支えています。また、谷戸の湿地（田んぼをやめた後のアシ原やオギ原）も梅雨時にツル草（クズやカナムグラなど）を除去することで、秋には花畑になります。以前は夏にツルを取っていたのですが、梅雨時に取ることで成果があがるようになりました。秋の準備は梅雨時から始まっています。

谷戸の様子

相変わらず季節が10日ほど早く進んでおり、例年6月中旬に多くなるゲンジボタルが、今年は6月上旬にピークを迎えました。ホタルを観察していて気になったのが、モリアオガエルの鳴き声です。昨年までは所々で鳴いている程度でしたが、今年は全域で鳴いており、アマガエルと同じくらいにぎやかでした。一方でアマガエルの声が減った気がします。モリアオガエルは元々鎌倉にはいなかったカエルです。元から棲んでいるアマガエルやシュレーゲルアオガエルに悪い影響がないか心配です。

昨年からコナラの木を中心に“ナラ枯れ”が話題になっています。カシナガキクイムシという小さな甲虫の幼虫が、コナラの内部を食い荒らして木を弱らせます。昨年の被害のひどさから多くのコナラが枯れると予想されていましたが、弱ってはいるものの枯れないで残っているコナラが多く、それほど被害が目立ちません。幼虫が開けた穴から樹液が出るらしく、樹液を出すコナラが増えたように感じます。近年は樹液を出す木が少なくなり、クワガタムシなどが減っているので、昆虫のためにはありがたいことです。とはいえ、弱っている木がいつまでももちこたえられるでしょうか。自然がすることには無駄がないはずなので長い目で観察したいと思います。

谷戸往来 2

体験学習

山崎小に苗 3500 本寄付

山崎小PTA「谷戸ボランティア」が苗取りをしました。山崎小の田んぼのある清水谷戸でも、当会の苗が植えられます。

第13回総会6/6(日)

会員の皆様に、委任または議決権行使のご協力をいただき、少人数にて開催することができました。

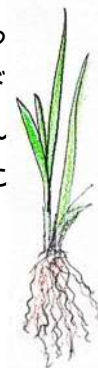
（深沢小5・田うない）入ったときはグチャグチャで、けど意外に気持ちよくて、楽しくなってきました。いろいろな虫がいたけれど、それも思えば「自然だな～」と思って、山などに囲まれているから鳥などの鳴き声もして、すご〜く気持ちよかったです。

（教育支援教室ひだまり）小麦の畑にいきました。思っていた以上に大きく育っていました。その後、オタマジャクシをみました。よく見ると足が生えているものもいました。そのほか、トンボや刺激を与えると頭を小刻みにメトロノームのようにふるガの幼虫も見ることができました。

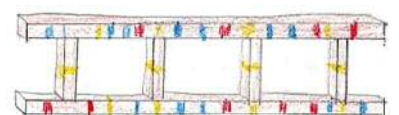
（富士塚小5・田うない）田うない楽しかったです。しりもちついてズボン・パンツがドロドロになってしまいました。手をつっこんで下のほうのドロをとってみたら、ぷにぷにしててきもちよかったです。

（深沢小5・田植え）こないだまで、ふっとうにお米を食べていましたが、田うないと田植えをやったら、お米を一つぶ一つぶ大切に食べるようになりました。これから一年、楽しくがらんぼって、おいしいお米を作りたいと思いました。

（小坂小3・谷戸体験）つくったひりょうのなかに、カブトムシやミミズとかいろんなむしがいた。バケツに入れてバケツリレーをしたのがたのしかった。



（富士塚小5・田植え）18本のいねを9カ所に2本ずつ植えました。いねを植えるときは、筆と同じように持つそうです。田うないのときよりも田んぼの中に入る時間が短かったけれど、とても楽しかったです。



田んぼものさし

田んぼ班

たくさんの参加者のおかげで、6月初旬までに無事に田植えを終えました。苗床の苗の育ちが今一つでしたが、田んぼに植えた稲はだいぶ大きくなってきました。暑い季節を迎えますが、田の草取り頑張りましょう。



 長ねぎの移植

雑木林管理班

田植えが終了し、土手の草刈りから活動を再開しました。谷戸の草木、雑草はコロナ禍に関係なく元気いっぱいですが、そのエネルギーに圧倒されめよう、頑張って作業に取り組みます。

畑班

飽くことなき雑草との闘い。でも「マルチ」は使いません。環境、景観はもちろん、裸地(らち)の存在がバツ、コオロギだけでなくハチ、クモ、トカゲなど多くの生きものにとって重要だからです。

自然遊び班

里山探検隊「さつまいも苗植え」★草むしりは少しつかれたけどとても楽しかった！(小4)★今日は田んぼに入りました。さいしょはめちょめちょしてころびそうになったけど、だんだんなれた。(小5)



 さつまいも苗植え

植物育成班

ウマヤナギの実、サンカクヅルを発見しました。珍しくはないですが、この谷戸では初記録です。20年以上観察を続けていても発見があり、メンバーと分かち合うことも楽しさのひとつです。

生態系保全班

オタマジャクシ用保護ネットを外しました。上陸するまで準備を待ったため、急いでの田植えとなりました。カエルのために田んぼを維持しているようなところもありますが、守るには必要なことなのでしょう。



 梅の実取り

農芸班

高い高い枝先にやっと見つけた梅の実めがけ、長い竿で叩きました。実をきれいに洗ってヘタ取り。水気をしっかり拭いたら塩をまぶして下漬け終了。白酢があがって赤じそが出回るのを待ちます。

7月

- 3日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 4日(日) 田 田の草取り ☆
 雑 土手保全のための草刈り ♣
 5日(月) 畑 にんじんの種蒔き ☆
 10日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
 11日(日) 田 田の草取り ♣
 雑 下草刈り ☆
 自 里山探検隊「谷戸しごと」
 かまくらレンジャーズ
 14日(水) 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
 18日(日) 田 田の草取り
 雑 土手の草刈り
 21日(水) 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ♣
 22日(木・祝) 田 田の草取り
 25日(日) 田 土手の草刈り ☆
 雑 雑木林の下草刈り ♣
 講座「谷戸の生きもの」 ☆

8月

- 1日(日) 田 畔の草刈り ♣
 畑 さつまいもの草取り・つる返し ☆
 雑 草刈りして水路整備 ♣
 講座「堆肥作り」 ☆
 4日(水) 農 梅干し作り(天日干し) ♣
 生 水の生物の観察 ♣
 8日(日) 田 畔の草刈り
 雑 アズマネザサの刈り取り ☆
 22日(日) 田 ネット張り
 子ども里山体験
 25日(水) 畑 大根畑の耕し、長ねぎの土寄せ
 生 バッタの観察 ♣
 29日(日) 雑 アズマネザサの除去 ♣

9月

- 1日(水) 農 麦わら細工(しおり作り) ♣
 植 秋の野草観察 ♣
 4日(土) 田 すがい作り
 5日(日) 田 すがい作り ☆
 畑 大根の種蒔き ♣
 雑 刈払機で草刈り ♣
 講座「谷戸の植物観察」 ☆
 11日(土) 生 虫の音を聞く ♣
 12日(日) 田 はさ作り(田んぼ横) ♣
 13日(月) 畑 草取り、草刈り ☆
 19日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ☆
 22日(水) 畑 大根の間引き、長ねぎの土寄せ
 26日(日) 田 稲刈り準備、畔の草刈り
 27日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

今後の情勢によって中止や延期の可能性があります。
 ホームページ、または事務所にご確認ください。

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験

各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合 (農芸班は、10時)

夜の自然パトロール:18:30 山崎口しいし前集合 20:30ごろまで

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時~16時

ホームページ : <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報105号)は、2021年9月に発行予定

田: 田んぼ班 畑: 畑班 雑: 雑木林管理班
 農: 農芸班 自: 自然遊び班
 生: 生態系保全班 植: 植物育成班

